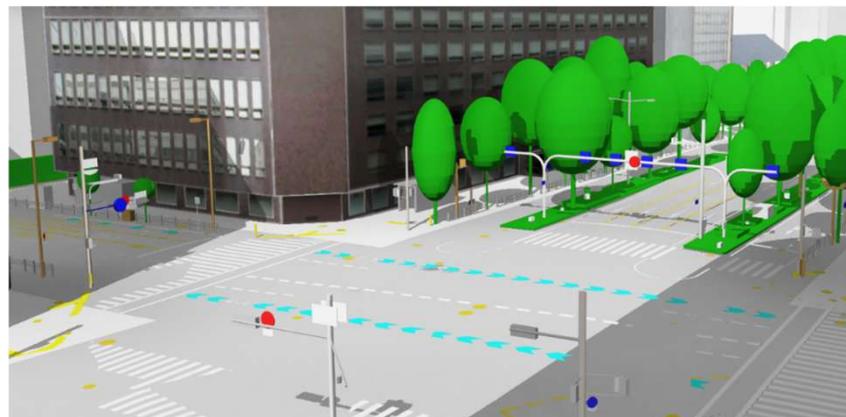


ポイント

- まちづくりDXを支えるデジタル基盤として、[3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進](#)する国土交通省のプロジェクトとして2020年に開始。
- 3D都市モデルは都市の三次元形状に加え、[建物の用途や構造等の意味情報を保持可能](#)で、点群やGoogle Earth等の従来の3Dデータと異なる。
- 令和7年度末までに約300都市が整備。



● 既存データを有効活用し、モデル整備が可能

- 3D都市モデルの基本的なデータソースは、以下の「3点セット」。
- ① [都市計画基本図\(基盤地図情報\)](#)
 - ② [都市計画基礎調査](#)
 - ③ [公共測量成果\(航空写真等\)](#)
- いずれも地方自治体により定期的に収集・作成されているデータ(3Dモデル作成のための追加的なデータ取得費用は不要)。



● オープンデータ化の推進

- 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)が運用する「[G空間情報センター](#)」において、3D都市モデルをオープンデータ化。
- 政府標準利用規約、CC BY 4.0等のオープンライセンスを採用し、二次利用、商用利用等を可能とすることで、各分野におけるオープンイノベーションの促進につながることを期待。



3D都市モデルが整備されている都市

2025年大阪・関西万博会場 3D都市モデル (Project PLATEAU)



以下①～③を参照

どなたでも無償で利用できますが、商業目的、販売促進、広告利用、商品化などの営利目的での使用は一切認められていません。

必ず利用規約をご確認いただき、同意いただける場合のみデータのダウンロードを行ってください。データのダウンロードをされた場合には、利用

※ PLATEAU VIEW(3D都市モデルを見れるアプリケーション(中央))へ移動

PLATEAU VIEWはこちら

PLATEAU VIEWは、PLATEAUのデータをプレビューできる、ブラウザベースのWebアプリケーションです。

デジタル空間上に再現された、2025年大阪・関西万博に出展した国内外の様々な国と地域による魅力あるパビリオンやモニュメントをあらゆる角度から見るができます。

- 必要環境 CPU: Intel core i5相当のCPU、RAM: 16GB、グラフィックカード等※
- 推奨環境 CPU: Intel core i7、Intel Core Ultra 5 以上、または同等性能のCPU、RAM: 32GB、グラフィックカード等
 - ※ LOD3のようにジオメトリ数やテクスチャ量が多い3D都市モデルを安定して表示するため、専用GPUメモリ (VRAM) を搭載した外部
 - ※ PLATEAU VIEWの利用環境

※ 「2025年大阪・関西万博会場 3次元点群データ」(右)へ移動
→ 右の①～③を参照

3次元点群データはこちら

3D都市モデル作成に当たって取得した

データ

- データ目録 (v4)**
2025年度版データを標準製品仕様書V4に基づいて作成した提供データ目録です。...
- 索引図 (v4)**
データ整備範囲の標準地域メッシュ (2次メッシュ、3次メッシュ) のメッシュとメッシュ番号を示したPDFファイルです。
- CityGML (v4)**
2025年度版データを標準製品仕様書V4に基づいて作成したCityGML形式のデータです。次のデータが格納されています。コードリスト (XML形式) ...
- 3D Tiles, MVT (v4)**

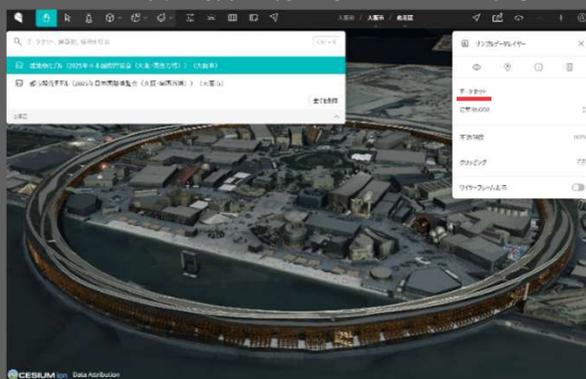
③ 移動先ページにて利用規約に承諾 (「利用規約を承諾する」をクリック)するとダウンロード開始
※ ダウンロード時間目安: 5分間

①

②

PLATEAU VIEWでの表示の手順

※ 左のリンクから開く場合、万博会場がデフォルトで表示されます。



「基本」 ● カーソル: 縮小(俯瞰視点) ⇄ 拡大(歩行者視点)
● 右ドラッグ: 視点移動



移動モード



選択モード

- 左ドラッグ: 画面移動
- 左クリック: 対象物を選択
- 左ドラッグ: 対象範囲を選択

※ 建築物モデルはLOD(詳細度)の切替が可能です(赤字)。建築物LOD3が最大ですが、処理負荷が高いため推奨環境を確認ください。

※ 大屋根リングは都市設備モデルの選択により表示できます。

※ VIEWトップ画面からアクセスする場合、「万博」で検索するか、都道府県>大阪府>大阪市(一番下へ)>2025年日本国際博覧会

★ 詳細な操作説明は、左上のPLATEAUロゴをクリックし「ヘルプ」を確認するか、PLATEAU Webのチュートリアルをご覧ください。

2025年大阪・関西万博会場 3次元点群データ



「3D都市モデル」ページから移動
→ 以下①～③を参照

どなたでも無償で利用できますが、商業目的、販売促進、広告利用、商品化などの営利目的での使用は一切認められていません。

必ず利用規約をご確認いただき、同意いただける場合のみデータのダウンロードを行ってください。データのダウンロードをされた場合には、利用規約を承諾したものとみなします。

計測方法と3次元点群データ

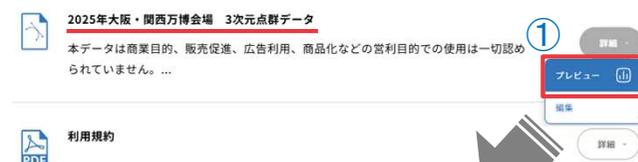
計測は国際航業株式会社とクモスコレーション株式会社が計測機器: FARO Orbis を使用し会場内の侵入可能な範囲を150コース以上計測したデータとなります。

3次元点群データは統合処理と移動体を削除するノイズ処理を行っています。

LidarSLAM技術を用いた3次元計測より令和7年4月～令和7年5月に取得したデータです。

空間参照系は平面直角座標系(第6系)です。

データ



①

②

別ページへ移動

2025年大阪・関西万博会場 3次元点群データ

本データは商業目的、販売促進、広告利用、商品化などの営利目的での使用は一切認められていません。

DLする図部を選べます。多くの図部を一度に選ぶと、容量が大きくなってDLに時間がかかることがありますので、空き容量と共にご注意ください。

ダウンロードプレビュー



③ ダウンロードボタン() をクリックするとダウンロード開始

② ダウンロードするメッシュを選択
※ メッシュは複数選択も可能ですが、大容量であるためご注意ください。

2

※ データの商用利用は禁止です。ダウンロードに当たっては、必ず利用規約をご確認ください。